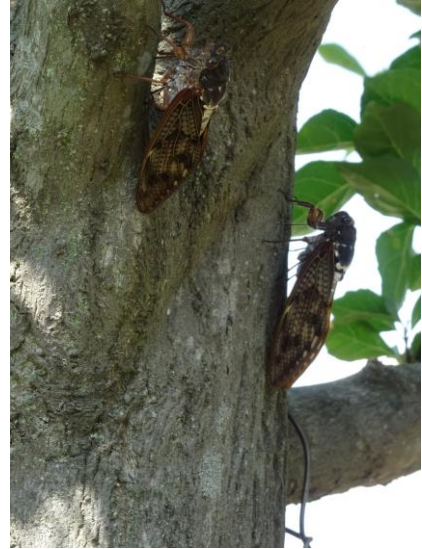


蔵王の森の四季

～'18夏～

猛暑また酷暑といわれる、今年の夏。蔵王の森では、トンボやチョウが舞い、セミが大合唱しています。五霊池では、メダカやオタマジャクシが元気に泳いでいます。



ジャコウアゲハがやってきた！

例年より遅れて7月はじめ、ジャコウアゲハの雌が卵を産みつけにきました。

3年生は、理科の授業で『地域の先生』としてお世話になっている市の自然に親しむ会の方をお呼びして、ジャコウアゲハの育ちの学習をしました。先生から食草ウマノスズクサやジャコウアゲハのひみつを教えてくださいました。子供たちは、幼虫に直接触れたり、説明を聞いたり、興味津々でした。



「子どもの森を守る」…草刈りボランティア活躍中

今年は、校長先生の提案で毎週木曜日を「木の日」と定め、蔵王の森を児童に開放しています。木々に触れ、花を摘んだり実をとったり、オタマジャクシを網ですくったりと、生き物にふれ合い、自然に親しんでいます。

こうした活動を支えてくださっているのが、PTAや後援会の皆様から募った草刈りボランティアの方々です。今年は、6月から9月末まで年間3回予定しています。ご協力をよろしくお願いいたします。

